

学びをひろげる (第12回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2015年9月19(土) (1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東
(大阪市城東区鳴野(しぎの)西2-1-21 ☎06-6965-1200)
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。



京橋駅 (JR線) 南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅 (京阪線) 中央口から南へ約850メートル

一人で拡がらない学びを○人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



前回 第11回の内容

松井直哉さん(東大阪市小学校教員)から提案していただきました。風貌、語り口調といい、話の内容といい、全身から子どもに寄せる愛情と授業、教育に対する情熱がわき出て来るように感じました。「子どもの課題?教師の課題?集団の課題?」と題したレポートと、それを補完する「エピソード編」の大きな資料を用意してくださいました。「現場から具体的」に語るお話に引き込まれました。レポートの「見出し」にその一端を伺えます。・子どもが話を聞けない? ・子どもが自分の意見を発表できない? ・混乱の中から生まれるもの ・子どもを信用する ・子ども同士がぶつかってこそ解決策ができあがる ・認知、判断、操作、と。まず「子どもを信頼する」ことから始まる松井さんの教育観は、人との関わり合いを大切にする生き方の流儀とひとつつながりになっているように感じました。こんな話になります▼子どもが(教師の)話を聞けなくなったのではなく、(教師の話が)聞くに値しないと判断されたのだ。▼混乱を担任はきらい傾向にあるようだが、混乱するのはよくないことなのだろうか。▼私としては大人がゴールを設定し、そこへ子どもを導こうという発想がたまらなくきらいだ。子どものゴールは、100人いたら100通りあっていい。▼私は、子どもたちは捨てたものではないと思っている。むしろ信用して問題をぶつけてあげれば上げるほど応えてくれる…。そして、私は若い人には、「とにかく子どもを観察しなさい」と言っているとむすばれました。若い人たちにぜひ聞いてほしい話でした。何らかの形で、レジュメを多くの人に見てもらえるようにできればと考えています。



研究会の様子

今回 第12回は



JICA 研修 ワークショップ『障害者がみんなといっしょに学び合うことについて』報告 松森俊尚

JICA(ジャイカ)の「インクルーシブ教育/特別支援教育の推進」の研修が毎年行われています。今年も8カ国16人の研修員が来日して1か月余りを過ごします。研修のほとんどは横浜で行われますが、大阪の「共に学び、共に生きる教育」を研修出来ないかとの話をいただき、その一コマを松森がコーディネートすることになりました。

人工呼吸器ユーザーのユウタロウさんと両親にも参加してもらい、▼いっしょの教室にいて授業を受けて、学習しているのか ▼他の子どもたちへの影響は などをテーマに、研修員相互のディベートを中心に進めていく予定です。実際に研修員とユウタロウさんが話し合う場もつくりまします。9月17日(木)開催ですので、いったいどんな顛末になるやら、ハラハラドキドキ、いやワクワクしています。その報告を松森がします。みなさんもいっしょに考えてみませんか?!

案内は、ホームページ(<http://manabi-hirogeru.net/>)にも掲載しています。(多くの方の申し込みをお待ちしています)当日参加もOKです。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森(☎090・1960・3469 ☎✉gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本(☎✉yamamoto2.cham-miku@nifty.com) 堀(☎✉hori720@hotmail.com)

★次回第13回研究会は、2015年11月28日(土)午後1時45分~5時 クレオ大阪東 で行います★